



奈良街道に残る物部守屋の史跡散策 ご案内

Cグループ 担当 福嶋明子

- 日時； 2026年2月19日(木)
- 集合； JR八尾駅 改札口 10:30 (改札内にトイレあり。改札の外にコンビニ有り)  
近鉄八尾駅はかなり離れていますので、お間違えのないように。
- 持ち物； 飲み物、防寒具 など。 昼食は、寒い時期ですし、適当な公園などありませんので、国道沿いの食事処でとっていただこうと思います。  
カレーのCoCo 壺番屋、ラーメン・中華の店、ニュー高砂(ファミレス、うどん・そば有り)
- 行程； 10:30 JR 八尾駅 集合  
10:35 安中新田会所跡・旧植田家住宅 解説見学約30分 トイレ有り  
11:10 奈良街道沿いに 渋川神社～大門地蔵～簷葡萄舎(えんぼしゃ)跡～立江地蔵～  
11:50 国道25号線太子堂付近着。各自昼食 約1時間  
12:50 物部守屋墳～鏑矢塚～  
13:10 太子堂・大聖勝軍寺 トイレ有り  
13:50 跡部地蔵～跡部神社～油掛地蔵～  
14:30 真観寺(三好長慶墓)  
15:00 JR 久宝寺駅 解散  
約4.5kmのまったく平坦な街歩きです。



(安中新田会所跡・旧植田家住宅)

奈良街道は、西は平野から四天王寺にいたり、東は亀の瀬から竜田・斑鳩に通じる、古くから奈良と大阪をむすんでいた街道で、竜田越え、大和街道、また、聖徳太子が通った道ということで、太子道とも呼ばれていました。旧街道沿いには、道標や地蔵堂、燈籠などが多く残されています。

また、八尾西部の跡部(あとべ)あたりは古代豪族 物部氏の本拠地であったとみられています。物部氏は饒速日命(ニギハヤヒノミコト)を祖とし、軍事や神事で大王に仕えた有力氏族でしたが、仏教の受容をめぐる、推進派の蘇我氏と激しく対立、皇位継承をめぐる対立もあって、用明2年(587)、物部守屋の軍勢は、蘇我馬子と聖徳太子の連合軍とこの地で激突、敗れました。

この戦いの折、聖徳太子は四天王を刻んで祈願し、その加護によって勝利できたということで四天王寺を建立し、また椋の木に隠れて難を逃れたことからそこに寺を建て勝軍寺と名付けたと言われます。

叡福寺(上の太子)、野中寺(中の太子)に対して下の太子といひます。



周辺には、守屋の墓とされる墳墓、守屋の首を洗ったという守屋池、守屋を射貫いた鏑矢が落ちたところにその矢を埋めたという鏑矢塚、弓を埋めたところと伝える弓代塚などがあります。

奈良街道沿いの寺社や地蔵堂などについて、ボランティアガイドさんに案内していただきます。

雨天中止の場合は、前日 18 時までにごメールいたします。